

●活動事例一覧

① 高齢者の個別ごみ出し事業

一人暮らしの高齢者など家庭のごみを出すのが困難な方を対象にごみ出し支援を行う。

高校生がごみ出しボランティア

札幌市豊平区 尚志学園高校の取り組み

北海道尚志学園高校（札幌市豊平区）の生徒が、脳梗塞（こうそく）の後遺症で右半身がまひした同区の斉藤さんのもとに、ごみ出しのために通っている。九人が交代で週三回、斉藤さんのアパートを訪ね、玄関に出されたごみを百メートルほど離れたごみ置き場に運んでいる。

斉藤さんは脳梗塞で倒れ回復後も、右半身がまひしており、歩く際は左手のつえが手放せない。最も心配だったのが、ごみ出しだった。右手が動かないので、つえを持つ左手でごみ袋も持たねばならない。ごみ置き場までは、玄関先の階段を下り、さらに雪道を歩かなければならない。朝早いだけに介護ヘルパーも頼みづらい。

「何か方法はないだろうか」。斉藤さんは、ケアマネジャーで保健師の伊藤昌代さんに相談した。伊藤さんは、アパートの近くにある尚志学園高に頼んでみたところ、九人が手を挙げた。

この活動をきっかけに、同校では他にも一人でごみ捨てができない高齢者などにボランティアを行うようになり、次年度には20名もの生徒がボランティアを行うようになった。

他地域でも収集所まで持っていきができない高齢者が自宅前に置いたゴミを小学生や地域ボランティアが収集所まで運ぶ活動を行っています。



■事業内容

地域で協力者を募集し、毎週〇曜日と〇曜日に希望する高齢者の家から最寄りのごみ集積場までごみを持っていく。同時に、ごみが出されていない時は、声がけし、安否確認を行う。

② ライフサポート事業

高齢者等を対象に買い物、障子張替え、草刈、送迎などの生活支援を行う。

ライフサポートクラブ運営事業

名張市 すずらん台まちづくり協議会の取り組み

掃除や洗濯、庭木の剪定、家具の移動、電球交換、買い物、通院……。高齢となり、昔はなんでもなかったことでも、難しくなってしまうことがある。そんな暮らしの中の困りごとを地域の助け合いで解決しようと活動しているのが、「すずらん台ライフサポートクラブ」だ。

「一枚だけ障子を張り替えたい。」「電球を取り替えたい。」「お米を買ってきて欲しい。」「病院に連れて行って欲しい」など、高齢になると暮らしの中のちょっとした困りごとが増えてきますが、業者に頼むほどでもなかったりすることがあります。

そんな時に気軽に頼れる地域の仲間がライフサポートクラブ。



■事業内容

地域で活動協力者(活動会員)とサービス利用希望者(利用会員)を募集し、高齢者等の生活支援を行う。

《名張市の場合》

◎会員相互の助け合い活動とし、利用会員は、年間費 2,000 円を納め、また、利用するサービスに対して利用料金を支払っている。

(30分：300円　1時間：700円　以後30分毎：500円)

◎活動会員は、登録を行い活動に応じて活動費を受け取る。

(1時間以内：500円　1時間以上：1,000円)

③ 公園の見守り

-2-

子どもが公園を利用する時間帯に「地域安全」や「パトロール中」の腕章やたすき等を着けて子ども達に声かけしながら公園を巡回する。

「公園見守り隊」

丸亀市城北防犯パトロール隊の取り組み

子どもたちが安心して遊べるまちづくりを目指し、丸亀市の防犯パトロール隊が公園見守り隊を結成している。公園周辺で不審者の目撃情報が相次いでいたため、放課後に校区内にある32の公園をパトロールするとともに環境美化にも従事している。地区のお年寄りらが隊員の中心となっている。



■事業内容

地域で活動協力者を募集し、地域内の公園を子供達に声掛けしながら巡回する。同時に道路や公園のごみやフンの清掃を行う。

④ 地域安全マップの作成

地域の店舗や緊急非難箇所、交通事故多発箇所や子どもの家110番などを印したオリジナルマップを作成する。

「安全安心マップの作成」

東京都新宿区大久保地区協議会の取り組み

大久保地区協議会、安全・安心分科会では、安全・安心に関する知識を高め地域の防犯力を向上させることを目的に安全・安心マップを更新しました。みやすく、使いやすいマップを作ろうと委員、町会・自治会、小・中学校PTAのみ守り隊員のみなさんによりマップ作成プロジェクトチームを立ち上げ、まちあるきや討議を重ねました。実際にできたマップは必要最低限の記載のみのシンプルなものです。交通、防犯上注意が必要な個所について家族で話し合いながら添付のシールをはったりマップに直接書き込んで貰えるようになっています。

この安全・安心マップを土台に、我が家仕様のマイマップを作ること、日ごろの防犯への備えや地域への関心が少しでも高まればと協議会では考えています。



■事業内容

地域でマップ作成の協力者を募集し、区域内の調査を行い、安全・安心マッ

プを作成し、区域内住民に配布する。